

い」と話す。
「コスト高で
経営支援に」
コスト上昇の不安を申
し出る運送会社もある。
関東—京都・大阪間の幹
線輸送を手掛ける都内の
販売

価格も1・5～2倍にな
っている。荷主である取
次会社から経営支援を受
けている状況」とした。
こうした状況を受け、
日本雑誌協会販売委員会
の井上直副委員長は「出
版社は勇氣を持って販売
（熊田 安那）

東京都トラック運送事
業協同組合連合会（椎名
幸子会長）の調査による
と、1月以降の半年間で
7割超の会員企業が標準
的な運賃と比較して低い
運賃しか收受できていな
い。東ト協連は「物価高
騰の影響で荷主もコスト
増となり、運賃交渉がう
まういかなかった運送会
社もある」としている。

「極めて低い」
「少し低い」と
い。11・6%を
た「グラフ・標準的
な」と初めて比較した
の調査よりも9・3
少したものの、7割
える水準にある。

京都に点呼C開設 全国9拠点 一元管理

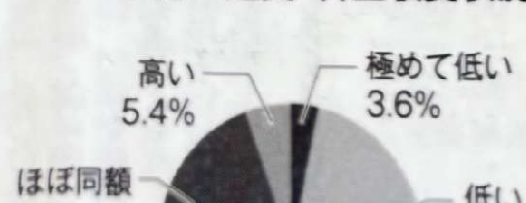
郵便輸送が主力のタカロジ（本社・栃木県那珂
ロジ（本社・栃木県那珂
川町、道幸由竹社長）
は、遠隔点呼の実施で
「集中点呼センター」を
開設する。新体制への移
行は11月4日からで、点
呼業務全般の効率化やド
ライバーの安全運転確保
に向けた支援強化を図
る。

同点呼センターは同社
京都支店（京都府城陽
市）内に置き、全国9カ
所（支店・営業所、グ
ループ会社・社会む）に
勤務するドライバー13
4人を対象に実施。始業
・終業時の点呼ととも
に、安全運転の確保に役
立つ道路・気象状況など
各種情報も提供する。
タカロジは中古トラッ
ク売買やリース・レンタ
ル事業のタカネットサー
ビス（本社・横浜市、西
口高生社長）のグルー
プ会社・西田浩二京都支
店長は「単に機械を導入
するだけでなく、運賃管
理者とドライバーが対面
同等の意識を持って臨
む」と話す。
（高木 明）

アサヒロジステイクス 八戸に共配センター 青森初の自社施設

アサヒロジステイクス
（本社・さいたま市、横
塚元樹社長）は11月7
日、青森県八戸市に「八
戸共配センター」を開
業。飲食店や小売店向け業
務を行うほか、青森県産
の青果物を消費地で
ある関東に輸送する
（熊田 安那）

標準的な運賃と比較した
1～6月の運賃・料金収受状況



12月まで自動運転実証